

① 授業の基本情報（保健医療技術学部・看護学科、科目名：老年看護学実習、配当年次：4年生、履修者数:84名、実習の一部をオンライン実習した内容を発表いたしました。）

② 教員の基本情報（氏名：増田元香、所属：保健医療技術学部 看護学科）

③（可能なら）学生のコメント

「緊急事態宣言下のなか臨地実習には行けなかったが、DVDの映像を基にした事例だったので、実習のイメージがつきやすかった。」

「Teamsで質問時間が設けられていたので、質問しやすかった。」「他の人の気づきを知れて勉強になった」

「ライブカンファレンスで仲間と意見交換でき、理解を深めることができた」

「この理解でいいのか、直接話ができないところもあり、オンライン実習では難しいところもあると実感した」

④ 授業をオンライン化するにあたって心がけたこと（工夫点、苦勞）

学生の不安解消と安心して受講できるようオリエンテーション内容を工夫した。

リアル感を持ちながら、実際の高齢者をイメージした実習をするため、自宅

でも利用できるオンライン教材を活用した。

オンデマンドとライブを使い分けることで、学生の学習活動が進むように工夫した。

教員間の連絡を密にし、短期間で実習内容を練り上げるのに苦労した。

⑤ 今後のオンライン授業に向けて

授業とは違う実習におけるオンライン授業のメリット、デメリットを検討し、オンライン実習ならではの成果を探究する必要がある。

学生がケアを提供する側の責任を意識し、患者の状況を実感、想像しながら取り組める実習方法を検討する。